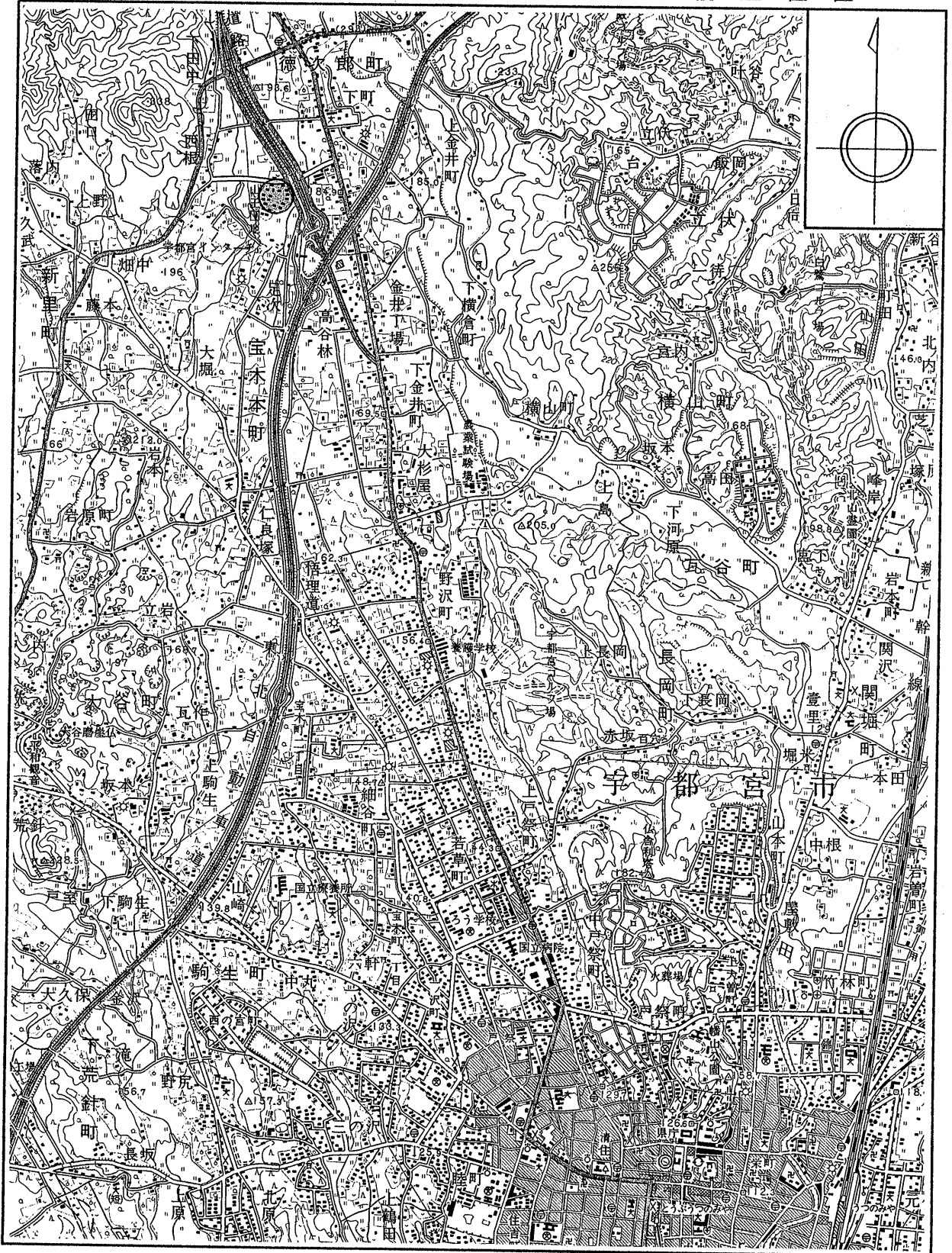
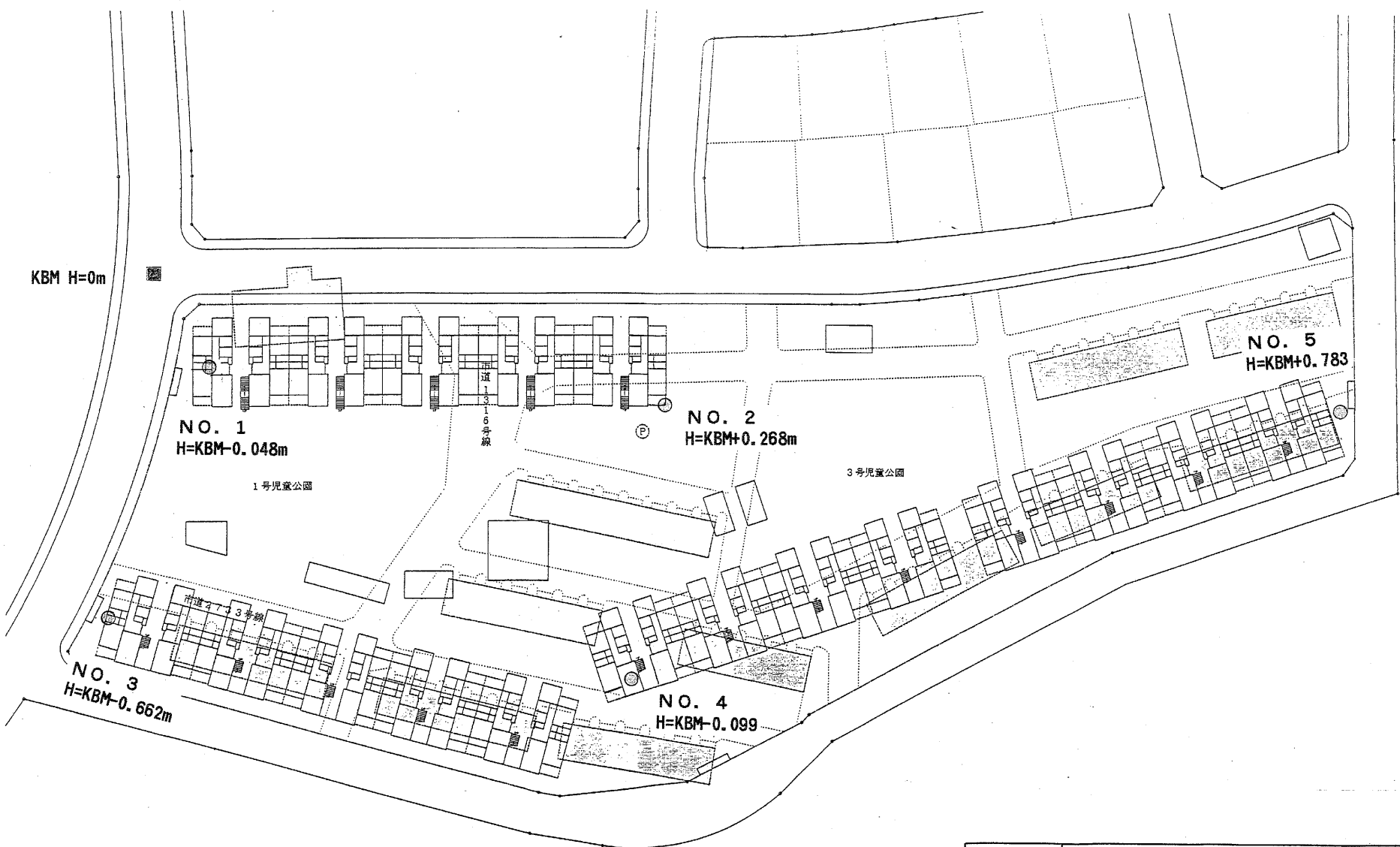


調査位置案内図

縮尺1:50,000

◎ 調査位置

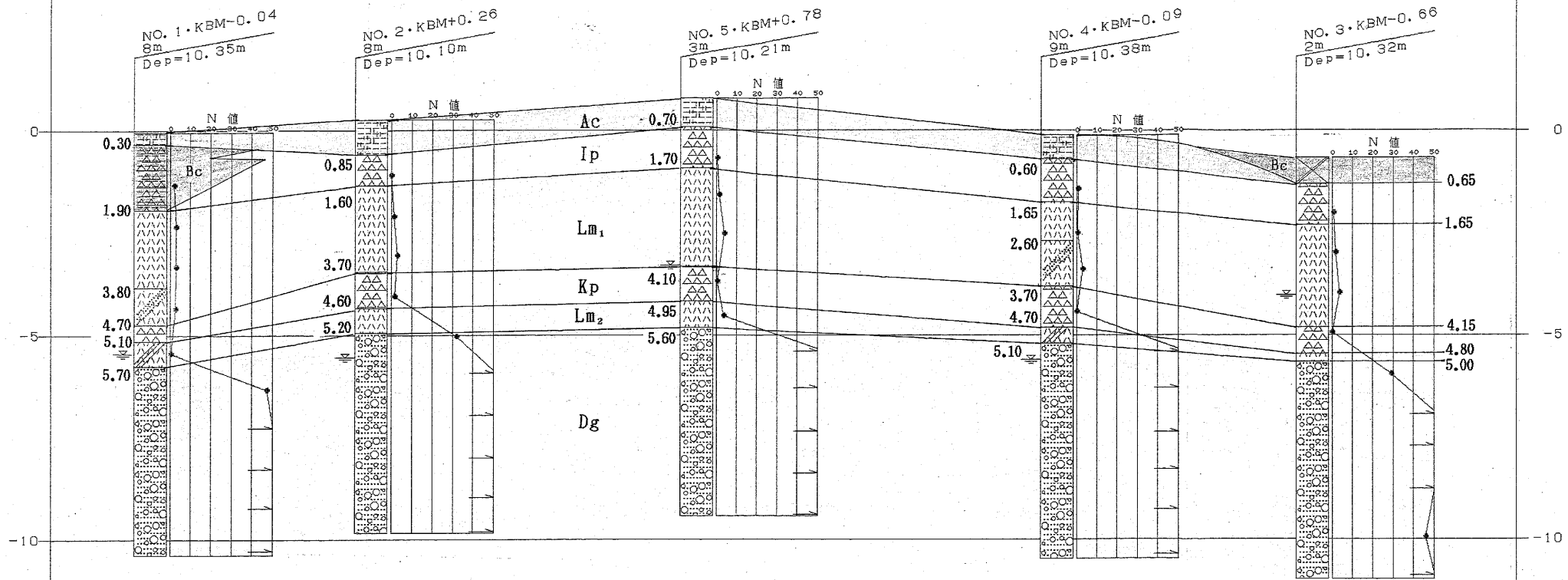




調査件名	山王市営住宅新築工事 (E工区) 地質調査		
図面名	調査位置図		
調査年月	平成 9年 6月	縮尺	1/600
須田地下工機株式会社			

標高
KBM (m)
+5

標高
KBM (m)
+5



時代	地層	地質	記号	層厚 (m)	N 値 (回)	分布
第	盛土・埋土	ソト挿・埋土	Bc	0.65~1.60		NO.1, NO.3
	表土層	有機質ソト	Ac	0.30~0.85		NO.3を除く地点
四 紀	洪積層	今市軽石	Ip	0.75~1.05	0/70~1/65	NO.2~NO.5
		上部ローム	Lm ₁	0.95~2.50	1/51~4/31	NO.1~NO.5
		鹿沼軽石	Kp	0.40~1.00	0/65~2/32	NO.1~NO.5
	下部ローム	Lm ₂	0.20~0.65	1/50~4/32	NO.1~NO.5	
	段丘礫層	砂礫	Dg	*4.61~5.32	29/30~50以上	NO.1~NO.5

注) 層厚 * 印は今回の最終調査深度の確認層厚

調査件名	山王市営住宅新築工事 (E工区) 地質調査		
図面名	地質推定断面図		
調査年月	平成 9年 6月	縮尺	
須田地下工機株式会社			

ボーリング柱状図

調査名 山王市営住宅新築工事（E工区）地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO. 1	調査位置	宇都宮市徳次郎町			北緯	
発注機関	鈴木公共建築設計監理事務所			調査期間	平成 9年 6月23日～ 9年 6月26日		東経
調査業者名	須田地下工機株式会社 電話(0285(45)0124)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.048m	角	180° 上	90° 方	北 270° 西	東 90° 南	地盤公配
総掘進長	10.35m	度	180° 下	90° 向	北 270° 西	東 90° 南	使用機種
					水平		試錐機
							エンジン
							ハンマー落下用具
							ポンプ

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験	試採取	室内試験	掘進月日
									深 度 (m)	10cm 打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値				
								埋土の様相呈す。草根を混入。								
1	-0.35	0.30	0.30	有機質シルト 軽石混じりシルト	黒褐 赤褐		非常	埋土の様相呈す。今市軽石を多量混入。	1.15	1/15	1/15	2/30				
2	-1.95	1.60	1.90	ローム	暗茶		軟	含水、粘性中位。腐植物を混入。3m付近腐石を混入。	1.45	1/16	1/8	1/7	3/31			
3	-3.85	1.90	3.80	砂質ローム	暗褐		軟	含水中位～少位。腐石を混入。	2.48	1/16	1/8	1/7	3/31			
4	-4.75	0.90	4.70	軽石	暗茶		軟	含水中位～少位。腐石を混入。	3.15	1/16	1/8	1/7	3/31			
5	-5.15	0.40	5.10	粘土質ローム	暗茶		非常	腐石を混入。含水大位。全体に含水多く軟質である。	3.45	1/16	1/8	1/7	3/31			
6	-5.75	0.60	5.70	砂	暗茶		非常	含水中位～大位。礫はφ2～30mmの歪角～歪円礫が主体である。最大で100mm前後を点在。マトリックスは細、中砂主体に粗砂も混じり粒径不均一である。B.7～9m間30%程度逸水する。	4.15	1/16	1/8	1/7	3/31			
7	-7.15			砂	暗茶		非常		4.48	1/16	1/8	1/7	3/31			
8	-8.15			砂	暗茶		非常		5.15	1/16	1/8	1/7	3/31			
9	-9.26			砂	暗茶		非常		5.65	1/16	1/8	1/7	3/31			
10	-10.40	4.65	10.35	砂	暗茶		非常		6.15	1/16	1/8	1/7	3/31			

ボーリング柱状図

調査名 山王市営住宅新築工事（E工区）地質調査

事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	NO. 3		調査位置	宇都宮市徳次郎町				北緯	
発注機関	鈴木公共建築設計監理事務所			調査期間	平成 9年 6月25日～ 9年 6月27日			東経	
調査業者名	須田地下工機株式会社 電話(0285(45)0124)		主任技師	現場代理人	コア		ボーリング責任者		
孔口標高	KBM -0.662m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 180° 東	地盤勾配	水平	使用機種	KR-50HG
総掘進長	10.32m	度		向		試錐機	エンジン	ハンマー 落下用具	コーンフーリー
							NFD-9	ポンプ	V5-P

標高 尺	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	標準貫入試験			原位置試験		試験 採取 方法	室内 試験 方法	掘 進 日 月
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 ÷ 貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および 結果			
-1.31	0.65	0.65	盛土	黒褐				シルト主体の盛土でコンクリート片、角礫を混入する。	1.15	1/42	1/42					
-2.31	1.00	1.65	軽石	黄褐 ～ 赤褐			非常に軟い	0.65～0.75m間七本径軽石。 0.75～1.65m間市軽石層。 風化が進む。	1.57	1/26	1/9					
-4.81	2.50	4.15	ローム	茶褐			非常に軟い	含水、粘性中位。 3m付近混入物は少なく均質である。	2.15	1/26	2/35					
-5.46	0.65	4.80	軽石	乳黄 灰			非常に軟い	礫沿軽石層で強風化、粘土状呈す。 含水大位で非常に軟らかい。	2.50	1/1	2/13					
-5.68	0.20	5.00	ローム	茶褐			非常に軟い	φ15mm位の亜円礫混入。	3.15	1/1	4/33					
			砂礫	暗褐			中ぐら いと 密な と 非 常 に 密 な	含水中位～大位。 礫はφ2～30mmの亜角～亜円礫 が主体である。最大で100mm前 後を点在。 マトリックスは細、中砂主体に粗砂 も混じり粒径不均一である。 6.5～7m付近全透水。 8m以深部分的に若干の透水性あり。	3.48							
									4.00							
									4.55		0/55					
									5.15	10	9/10	29/30				
									5.45							
									6.15	21	20/5	50/25				
									6.40	45	5/1	50/11				
									7.00							
									7.11							
									8.05	50		50/10				
									8.15							
									9.15	16	12/18	46/30				
									9.45							
									10.15	20	30/7	50/17				
									10.32							

ボーリング柱状図

調査名 山王市営住宅新築工事（E工区）地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	N O . 4	調査位置	宇都宮市徳次郎町			シートNo.	北緯
発注機関	鈴木公共建築設計監理事務所		調査期間	平成 9年 6月27日～ 9年 7月 1日		東経	
調査業者名	須田地下工機株式会社 電話(0285(45)0124)	主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -0.099m	角 180° 上 90° 下	方 北 270° 西 180° 南 東 90°	地盤公配 鉛直 90° 水平	使用機種 試錐機	KR-100	ハンマー 落下用具
総掘進長	10.38m	度	向	エンジン	NS-75	ポンプ	コーンフーリ V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験			原位置試験		採取 方法	掘 進 日 日
										深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数	打撃 回数 貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および 結果		
	-0.70	0.60	0.60		有機質シルト 軽石	黒褐色	非常に軟い		20cm迄泥混じりで盛土の様相。 今市軽石層で風化が進む。含水大位。 スコリアを多量混入。	1.15	1/35	1/35				
1	-1.75	1.05	1.65		ローム	黄褐色	非常に軟い		含水中位。粘性やや大位。乳白色の 軽石を混入する。	2.15	1/51	1/51				
2	-2.70	0.95	2.60		砂質ローム	暗茶	軟い		含水、粘性小位。有機物を混入。	3.15	1/11	3/30				
3	-3.80	1.10	3.70		軽石	乳黄灰	非常に軟い		鹿沼軽石層で強風化、粘土状呈す。 含水大位。	4.00		0/65				
4	-4.80	1.00	4.70		粘土質ローム	暗茶			全体に含水多く軟質である。	4.65	モンケン自洗	0/65				
5	-5.20	0.40	5.10							7/1 5.50	7	16	50/29			
6										5.44	50/8	50/8				
7										6.15	50/8	50/8				
8					砂礫	褐色 灰	非常に 密な		含水中位～大位。 礫はφ2～40mmの亜角～亜円礫 が主体である。最大でφ100mm 前後を点在。 マトリックスは細、中砂主体に粗砂 も混じり粒径不均一である。 7～7.2m間砂を挟在する。 8.4～9.1m間全量透水。 9.6～10m間50～60%透水。	7.15	9	23	50/23			
9										7.38	50/8	50/8				
10										8.15	50/8	50/8				
										8.23	50/5	50/5				
										9.15	50/5	50/5				
										9.20	16	28	6/3	50/23		
	-10.48	5.28	10.38							10.15						
										10.38						

ボーリング柱状図

調査名 山王市営住宅新築工事（E工区）地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N O . 5		調査位置	宇都宮市徳次郎町			北緯		
発注機関	鈴木公共建築設計監理事務所			調査期間	平成 9 年 6 月 2 8 日 ~ 9 年 7 月 1 日		東経		
調査業者名	須田地下工機株式会社 電話(0285(45)0124)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	KBM +0.783m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤公配	鉛直	使用機種	試錐機
総掘進長	10.21m	度	90° 下	向				K R - 5 0 H C	ハンマー 落下用具
								エンジン	N F D - 9
									ポンプ
									V 5 - P

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記 事	標準貫入試験			原位置試験		採取方法	掘進月日
											深 (m)	10cmの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 (m)	試験名および結果		
0.00	0.70	0.70		ニコロシルト	有機質シルト	黒褐色				上部未分解の草根混入。0.2m以深φ15~70mm位の礫を点注。	1.15	1	1/65				
-0.92	1.00	1.70		軽石	軽石	赤褐色			非常に軟い	今市軽石層で風化が進む。φ2~5mmの粒子主体に最大φ8mm程度の混入。	1.80	1/65	1/65	0			
				ローム	ローム	暗茶			非常に軟い	含水、粘性小位。3m以深φ2mm程度の軽石を斑点状に混入する。	2.15	1/28	1/14	2			
				ローム	ローム	暗茶			非常に軟い		2.35	1/14	2/13	4			
-3.32	2.40	4.10		ローム	ローム	暗茶			非常に軟い		3.15	1/14	2/13	4			
				ローム	ローム	暗茶			非常に軟い		3.46	1/14	2/13	4			
				ローム	ローム	暗茶			非常に軟い		4.15	1/15	2/13	4			
-4.17	0.85	4.95		ローム	ローム	暗茶			非常に軟い	鹿沼軽石層で強風化、粘土状呈す。スコリアを混入。含水大位。	4.80	1/15	2/13	4			
				ローム	ローム	暗茶			非常に軟い		5.15	1/15	2/13	4			
-4.82	0.65	5.60		ローム	ローム	暗茶			非常に軟い	砂質呈し含水、粘性小位。混入物は少なく均質である。	5.47	50/8	50/8	4			
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		6.15	50/8	50/8				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		6.23	50/6	50/6				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		7.05	50/6	50/6				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		7.11	50/6	50/6				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な	含水中位~大位。礫はφ2~40mmの垂角~垂円礫が主体である。最大でφ100mm前後を点注。	8.10	50/7	50/7				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な	マトリックスは細、中砂主体に粗砂も混じり粒径不均一である。	8.17	50/7	50/7				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な	8~9m間所々若干の逸水あり。	9.10	42	8/3	50/13			
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		9.23	50/6	50/6				
-9.43	4.61	10.21		砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		10.15	50/6	50/6				
				砂	砂	暗灰~暗黄灰			非常に密な		10.21	50/6	50/6				